

(平成29年6月作成)

事務事業評価シート

(H.29)No.	6091	(H.28)No.	6091
-----------	------	-----------	------

事務事業名	常備消防費		
担当部局名	担当室名	室長名	
消防本部	消防総務室	関岡 廣行	

会計区分	事業コード	450601
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 消防費	常備消防費	
項 消防費	(小事業名)	
目 常備消防費	常備消防費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	3 安全で安心なまちづくり
	施 策	3 消防・救急
重点プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
消防防災拠点として消防対応力の充実強化を図り、地域住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。
事業内容
消防施設・車両等の維持管理や研修による人員育成等を行い、常に24時間体制で複雑多様化する火災、救助事案と高度化する救急事案に対応します。また、火災予防啓発、応急手当の普及活動等を推進します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)	消防施設・車両等の維持管理や研修による人員育成等を行い、常に24時間体制で複雑多様化する火災、救助事案と高度化する救急事案に対応します。また、火災予防啓発、応急手当の普及活動等を推進します。		
主な事業の実績・計画	・消防本部、消防署の運営 ・消防救急デジタル無線活動波保守点検委託(H28年度から) ・現場用防火服の更新(H26年度から28年度) ・火災、救急、救助活動の実施 ・伊勢志摩サミット消防特別警戒	・消防本部、消防署の運営 ・火災、救急、救助活動の実施	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
			・消防本部、消防署の運営 ・火災、救急、救助活動の実施	・消防本部、消防署の運営 ・火災、救急、救助活動の実施	・消防本部、消防署の運営 ・火災、救急、救助活動の実施

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		77,291千円		79,324千円	80,036千円	80,036千円	80,036千円
内訳(千円)							
国・県支出金		824					
地方債							
その他(諸収入)		423		957	357	357	357
一般財源	0	76,044	0	78,367	79,679	79,679	79,679
人工数							
職員		0.80人		0.80人	0.80人	0.80人	0.80人
臨時職員等		0.40人		0.40人	0.40人	0.40人	0.40人
②概算人件費	0千円	6,680千円	0千円	6,680千円	6,680千円	6,680千円	6,680千円
①+②総事業費	0千円	83,971千円	0千円	86,004千円	86,716千円	86,716千円	86,716千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
予算が縮減傾向にある中においても、消防施設等の維持管理と職員の資格取得や研修を推進し、複雑多様化する火災、救助事案と高度化する救急事案に対応していく必要があります。消防施設等の適切な維持管理と職員の資格取得や研修を推進し、火災、救急、救助事案に適切に対処しました。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】	継続(現行)
継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に係る市の計画
財政状況が厳しい中、消防施設等の維持管理経費と職員の研修経費を確保しながら、部内研修や訓練手法等の工夫を行い、消防体制の充実強化を図ります。消防の運営に必要な経費であり、消防防災拠点として消防対応力の充実強化を図り、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。	